

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦2020年 3月31日作成 第1. 1版

研究課題名	緊急気管挿管における適切なチューブサイズの検討
研究の対象	高度救命センターにて緊急気管挿管を行い胸部 CT を撮影した20歳以上の患者さん
研究目的 ・方法	研究の目的：緊急気管挿管の際の日本人に適切なチューブサイズの検討を行い、挿管後の気道合併症の低減につなげます。 方法：胸部 CT 画像による気管径の測定を行います。また緊急気管挿管された患者さんについて、チューブサイズ、挿管期間、抜管後の上気道狭窄症状の有無、再挿管の有無などについての観察を行います。観察項目は通常の診療において行っている内容であり、この研究にともなって、観察項目が追加されることや何らかの介入を行うことはありません。
研究期間	西暦2015年 7月17日 ～ 西暦2025年 3月31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	診療録から、以下の情報を取得します： 年代/性別、体重、身長、過去3か月以内の挿管管理の有無、長期挿管管理(2週間以上)の既往の有無、気管切開既往の有無。(身長・体重・合併症などは登録前1ヶ月以内のデータを用いる)他
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター（研究責任者）岩下眞之 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-9913</p>	